

知床の窓から見えるもの

2014年7月14日（月曜日）

「未来の卵たち」

毎年、診療所には、医療職を希望する未来の卵たちが「インターンシップ」にやってきます。2年前のオープンの年は、迎え入れることはできませんでしたが、昨年から、「看護師体験・医療事務体験」を行っています。少しでも、将来の職業選択のお手伝いできればいいなあ・・・という思いから始まり、今年は「リハビリ体験」も追加しました。



～6月19日 羅臼高校2年生9名の卵たち～

皆さん緊張の面持ちで始まりましたが、白衣やかわいい事務服に着替えると自然と看護師さんや事務員さんに見えてくるものです。自然な笑顔の作り方や声のトーン・目線の位置など、皆さんが一番苦手？としているコミュニケーション技術についてオリエンテーションをしてから、各配属先に出発です。

昼食は、病院食の試食会です。

いつも食べているカロリーよりも、はるかに低め？ダイエットには最適ですよ(*^o^*)

患者さんとのお話に苦勞された卵さん、患者さんの足を持ち上げながらの足浴が大変だった卵たち、あっという間の職業体験だったと思います。

感想文を一部ご紹介しますね。（原文掲載です）

(*^▽^*)：救急外来体験では、心電図を測りあったり、正確に測れるように場所を間違えないようにして、1分1秒で命が助かるかという時に、しっかりやらなきゃいけないところが大変だと思いました。

(*^▽^*)：専門職の経験談を聞いて役に立ちました。利用者さんとお話が出来て良かったのですが、話をつなげることが苦勞しました。今回、体験させて頂いて、お仕事の大変さがなんとなくですが感じる事ができました。

職業観は、人によって様々ですが、特に医療職は、相手との信頼関係を築くためのコミュニケーション力・優しさや思いやり・正確な技術力などが求められる職業です。自分が憧れる職業や知ってみたい仕事など、どんどん体験して、自分には何が合うのか・・・何だったら頑張れるのか・・・悩み・学び・感じ取って欲しいと思います。

診療所の包括ケア推進連携室には「人材育成」という大切なお仕事が含まれています。未来の羅臼町の医療を担う人材がきっと育ってくれると確信しています。